

競技注意事項

1. 規則について

本予選会は2013年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本予選会申し合わせ事項に基づき実施する。

2. ナンバーカードについて

ナンバーカードはチップ付ナンバーカード2枚、チップなしナンバーカード1枚の計3枚を配付する。
競技者はレース時に着用するユニフォームの胸・背にチップ付ナンバーカードを必ず付けること。また、チップなしのナンバーカードについては各自の荷物に貼り付けること。

3. 招集について

- 1) 第1次招集はスタート地点（陸上自衛隊立川駐屯地滑走路南側）付近応援エリアにて実施するので各大学代表者1名は7:50に集合し、その時点で出場する10～12名を申告する。その際に、補欠者提出用紙3枚（原本〈記入・押印済みのもの〉＋コピー2枚）を提出すること。欠場者がいない場合でも、それ以外の部分を記入・押印して必ず提出すること。なお、第1次招集は8:00をもって打ち切る。
- 2) 最終招集はスタート地点付近競技者専用エリアにて出発40分前(8:55)より行き出発30分前(9:05)をもって打ち切る。必ず競技者本人が招集を受けること。その際、各チームのユニフォームは統一されていなければならない。また、最終招集完了以降については、競技者は競技役員の指示に従うこと。なお、最終招集を受ける際には、上着等は脱衣し、チップ付のナンバーカードを正式ユニフォームの胸・背に付けて行うこと。競技者専用エリアには、各校2名まで付き添いの入場を認める（代表者会議の際にIDを配付するので必ず着用すること）。
- 3) いずれの招集においても、競技者が10名に満たない大学は出場を認めない。また第1次招集後の競技者の変更は認めない。

4. 競技方法について

- 1) スタートの並び順はプログラム記載の通りとする。
- 2) フィニッシュした競技者は立ち止まらずに進行方向に進むこと。また、ナンバーカードについているチップはレース終了後、各大学一括して関東学連事務所まで10月25日(金)必着で郵送すること。なお、紛失した場合は実費を請求するので注意すること。
- 3) レースは1時間20分をもって打ち切る。レース打ち切り時には後続から後尾車が来るまでその場に待機し、その後の指示に従うこと。
- 4) スタート後38分を経過しても10km地点に到達しない者は競技を中止させる。中止を宣告された者はその場に待機し、担当競技役員の指示に従うこと。また、先頭走者が最終周回（18.2km地点付近）に入った時点で合流点（13.4km地点付近）に到達していない場合も競技を中止させる。
- 5) 自動車、自動二輪車、自転車等の車両、あるいは人による伴走は一切認めない。違反の判明した大学は失格とする。
- 6) 競技者は競技中に他人の手助けを受けてはならない。ただし、競技役員が状態を確認したり、安全を確保するために一時的に競技者の身体に触れても手助けとはみなさない。
- 7) 緊急車両がコース上を通過する場合は、車両を優先とする。なお、その間のロスタイムは不可抗力とし所要時間を含めることとする。
- 8) 完走者が10名に満たないチームの記録はチーム記録なしとするが、個人の記録については公認記録

として認める。

5. 給水について

主催者で水、スポンジを5kmごとに用意する。スペシャルドリンクの使用は一切認めない。
(給水所はコース図に記載の通り)

6. 道路使用上の注意

1) 一般道路(公道)使用上の注意

- ① 陸上自衛隊立川駐屯地を出てから公園内外周道路に入るまでの走行については、立川警察署担当官、並びに競技役員の指示に従うこと。
- ② 各大学関係者は一切コースに入ってはならない。

2) 公園内外周道路使用上の注意

- ① 公園内外周道路走行については、競技役員の指示に従うこと。
- ② 各大学関係者は、一切コースに入ってはならない。なお、フィニッシュ付近は特に混雑が予想されるため、大学関係者は絶対にフィニッシュ付近規制エリア内に入ってはならない。
- ③ フィニッシュ地点付近での各大学関係者の立ち止まりは競技運営に支障をきたすので一切禁止する。フィニッシュ地点付近では現場競技役員の指示に必ず従うこと。
- ④ 各大学関係者はコース周辺の移動に際して、一般入場者との接触に十分気をつけること。

7. 応援活動について

本予選会プログラム記載の応援実施要領に従うこと。

8. 第90回東京箱根間往復大学駅伝競走への出場について

- 1) 各校上位10名の合計タイムにより上位13校を選ぶ。なお、既に第90回東京箱根間往復大学駅伝競走本大会への出場を決めている大学は以下の通りである。

日本体育大学、東洋大学、駒澤大学、帝京大学、早稲田大学、順天堂大学、明治大学、青山学院大学、法政大学、中央学院大学、以上10校。

9. その他

- 1) 荷物は各大学で責任をもって管理すること(盗難、遺失に関して本連盟は一切責任を負わない)。
- 2) 競技中、身体の故障により競技を続けることが困難となった場合は、最寄りの競技役員に申し出て指示を受けること。なお、医師は医務テントに常駐する(競技終了後12:00まで常駐)。
- 3) 本予選会競技中の不慮の事故等については主催者側で応急処置は行うが、その後の処置は各自(各校)で行うものとする。また、事故に起因する事後の結果については本連盟では責任を負わない。ただし、2013年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 4) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園の許可なく手配しないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は詳細を含めて大会本部に連絡すること。
- 5) その他不明な点は、大会本部に問い合わせること。